

生きたいようにをこころに描く



OKAYAMA
TAIYOU
岡山たいよう
プロジェクト
you
PROJECT

ABOUT OKAYAMA TAIYOU PROJECT

岡山をもっと元気にする「岡山たいようプロジェクト」とは？

プ
ロ
ジ
エ
ク
ト
岡山を
つ
く
る
暮
ら
し
た
い
働
き
た
い

TITLE + SYMBOL

【タイトル】“晴れの国”にちなみ、岡山で暮らす誰もが太陽のように自分らしく輝ける働き方や暮らし方を模索することで、より明るい岡山をつくるプロジェクトという意図で名付けられました。

【シンボル】このプロジェクトの象徴である「多様な太陽」は、生き方や理想など形がないものをみんなで描くことの無限の可能性と、その中で生まれる様々な交流・コラボレーションを、自由な曲線とあたたかいカラーで表現しています。

生きたいように生きる、暮らしたいように暮らす。

選びたいように選ぶ。楽しみたいように楽しむ。

自分らしさをこころに描きたいような人が増えれば、岡山はより暮らしやすい「晴れの国」になるはず。

岡山たいようプロジェクトは「働きたい、暮らしたい岡山」を目指します。

地方から都市部への女性や若者の流出が大きな課題となっています。

選ばれる地域になるために欠かせないのは「仕事」です。

職場や地域の中に閉塞感^{へいそく}があるならば、それを変えていきたい。

当事者のリアルな声を集め、ひとりひとりが自分らしく

生きられる職場や地域とはどんな姿かを考えます。

働きやすく、働きがいのある職場づくりに取り組む企業の

最新事例を紹介し、職場改善を進める機運の醸成を図ります。

主催：山陽新聞社

共催：岡山県、岡山大学

協力：

岡山県ものづくり女性中央会／WePRO／岡山県経済団体連絡協議会／岡山県商工会議所連合会／岡山県経営者協会／岡山経済同友会／岡山県中小企業団体中央会／岡山県商工会連合会／全国健康保険協会岡山支部

WEBSITE ウェブサイト



<https://www.sanyonews.jp/taiyou/>

山陽新聞社公式WEBサイト内に特設サイトがオープン。実施内容のアーカイブを見ることができるほか、意見を募集する投稿フォームも設置されています。

VOICE みんなの声、募集！



たいようプロジェクトの主役はあなたです！岡山をもっと暮らしやすい晴れの国にするために、こちらからあなたの声やアイデアをぜひお寄せください！

ありのままの自分が深呼吸でき、
笑顔でいられるように。
(50代女性・大学教員)

柔軟な働き方ができて、
子どもがいる女性も
活躍できる地域に。
(20代女性・会社員)

誰もが自分を生かせる街に。
(70代男性・団体役員)

誰も否定せず、多様な考えを
受け入れて自分の意見を持てる
ような生き方がしたい。
(40代女性・企業管理職)

年齢に関係なく、男女平等に
活躍できる地域に。
(50代女性・公務員)

年代を超えて集まれる
おしゃれな場所があればいい。
(60代男性・大学職員)

他者を受け入れるまち・岡山に。
そうすれば岡山に人は集まる。
(50代女性・会社員)

仕事と子育て、
どちらもおろそかに
ならないようにしたい。
(30代男性・団体職員)

岡山で暮らすみなさんの リアルな声を集めました

新しく変化・変容することを
恐れない岡山に。
(40代女性・個人事業主)

シングルマザーが
生きやすい地域に。
(40代女性・個人事業主)



やりたいことを我慢せず家族に
振り回されずに穏やかに日々、暮らしたい。
女性も男性も、特に若い世代が輝く
岡山にしたい。(40代女性・会社員)

みんなのアイデアと具体的なアクションでネガティブな声を明るい声に変えていこう！

職場のお茶入れは女性、運転は男性。(50代女性・会社員)
「女は20代で結婚、出産して当たり前」「30代で結婚して
いないなんておかしい」「みたいな価値観があるので生きづらい。(30代女性・会社員)
女性活躍と言いつながら40〜50代の女性が働く時の雇用形態が「契約」か「派遣」しかない。正規雇用への転換の
チャンスもない。50〜60代の女性が生き生きとしていない街で、若い女性は定着しない。(50代女性・団体職員)

職場では社員の半分は女性だが、管理職比率はまだ10%に届かない。(40代女性・企業管理職)
仕事に家事、育児、介護に加え、地域の活動も女性の役回りが多すぎる。
活動の見直しを提案してもほとんど改善されない。(50代・主婦)

保育園などのお迎えをほとんど女性がするのは、男性がお迎えに行く時間が
知的で冷静沈着、力がなければならぬという空気がある。(70代男性・塾講師)
男性は指導的でなければならず、
知的で冷静沈着、力がなければならぬという空気がある。(70代男性・塾講師)

リーダーには男性が抜てきされる。地域の活動も役職は圧倒的に高齢男性。(50代女性・企業管理職)
女性は職場で闘い、さらに帰宅後は家事、育児を求められる。(50代女性・会社役員)

長時間労働で休職した。多忙過ぎて辞める人が増え、
人手が足りなくなる負のループを改善して。(20代女性・医療関係)
「女性は、誰でもできる簡単な雑用的な仕事をすればいい」というような風潮がある。
男女関係なく、得意なことをやればいいのに。(50代男性・会社役員)

親の葬儀で、嫁に行った娘は喪主になれない。嫁に行っても親子に変わりはないのに。(50代女性・団体職員)
共働きでも専業主婦でも家事、育児は女性がするという風潮がある。
そういう母親の姿を見て子どもたちは大人になり、同じ感じになる。(30代・主婦)

妊娠、出産した時に職場から「戦力外」の対応をされた。(40代女性・医療法人役員)
自分たちの親世代は保守的で家父長制的な家庭もあった。妻の母は外出も自由にできなかった。
自由気ままに生きた義父が亡くなり、これから自由になれるという時に義母は病気で倒れ、動けなくなった。
こんな世の中は次の世代に残せないとつくづく思う。(60代男性・団体役員)